

●効果の見える治水事業 高知県 岸本海岸高潮対策事業

高知県中央東土木事務所長 森木 浩二

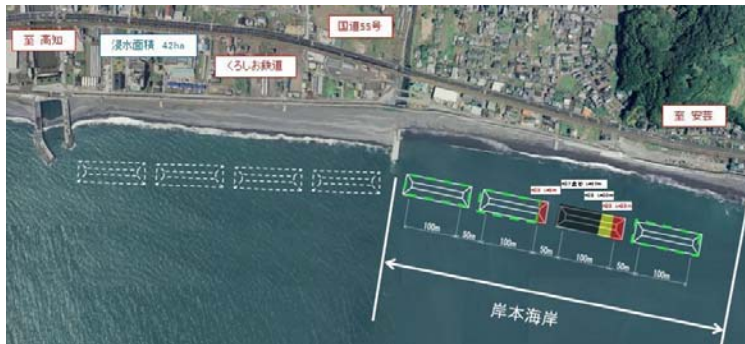


岸本海岸は、かつては広大な砂浜を有し、ソフトボール等の広場として、また、その地先は地びき網の漁場や昔から地域住民に親まれてきた海岸です。しかしながら、近年侵食により徐々に汀線が後退し、台風などの異常気象による高波時には、暴風に煽られた潮や海砂利が防潮堤裏に飛び散り、住家などへの被害が発生するようになっていました。



こうした越波被害を低減させるため、平成24年度補正予算より高潮対策事業に着手しました。（離岸堤4基、100m/基）。現在、1基目（L=100m）のうち約80m完了したところですが、すでにその区間の背後では、潮や海砂利の飛散が低減され住家などへの被害が少なくなっています。

本年度には、1基目の離岸堤の整備を完了させるとともに、2基目の離岸堤に着手予定です。事業完了までには、まだ年月がかかりますが、高波等の被害から地域を守るため早期の整備に努めていきます。



香南市の概要と岸本海岸高潮対策事業

香南市長 清藤 真司



《香南市の概要》

香南市は、平成18年3月に旧香美郡の南部にあたる赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村の5つの町村が合併し、誕生しました。

春には大盃に注がれた酒を飲み干すことで有名な「どろめ祭り」、夏には「みなこい港まつり」に「手結盆踊り」、秋には地域の伝統行事である棒踊りと獅子舞、冬には歩行者天国にした商店街に様々なお店が並ぶ「冬の夏祭り」、100畳の大凧が空に舞う「旧正風揚げ大会」など、季節ごとのイベントがたくさんあります。中でも、岸本海岸に隣接する岸本地区では地域住民が主体となり、毎年春に「かがみ花フェスタ」を開催しており、今年で10回目を迎えました。200品種10万本のチューリップが咲き誇る風景は圧巻です。

また、江戸時代の面影が残る手結内港と、その入り口にそびえ立つ近代的な可動橋が織りなす風景は、コマーシャルや映画の舞台となるなど、現在注目を集めています。さらに、海水浴場を有するヤ・シバークやのいち動物公園などのレジャー施設は、家族連れで楽しめる県内でも随一の施設であり、県内外から多くの方が訪れています。

そして、香南市は野菜の促成栽培とハウス栽培が盛んで、特こみかんとニラは県下でも有数の生産量を誇っております。また、太陽の光が果実全体に行き渡るよう工夫を凝らした特別な方法で栽培したエメラルドメロンとルナ・ピエナ（スイカ）、フルーツトマトは、イタリア語で「3つの果実」を意味する「トレ・フルツタ」の名で全国に出荷しており、その新鮮さ、味、品質は高く評価されています。

太平洋に面した美しい景観、山々の豊かな自然と豊かな水に恵まれた香南市。「美しい水と緑と風に包まれ、元気で豊かに光るまち」を市の将来像に据え、住みたいと思える香南市を目指し、地域・住民・行政の力を結集し、全力でまちづくりに取り組んでまいります。

《岸本海岸高潮対策事業への期待》

岸本海岸は、かつて野球が出来るほどの広大な砂浜があり、また古くから地びき網漁業が営まれており、地域住民に親まれてきた海岸でした。しかし近年、砂浜の侵食により汀線後退が進み、現在の砂浜は昭和37年当時の約半以下となっています。そのため荒天時による波浪が、直接防潮堤に当たることにより破砕した波とゴルフボール大の小石を含む海砂利が防潮堤を越え、民家の窓ガラスを破損し、県都高知市と高知県東部を結ぶ幹線道路である国道55号及び鉄道高架まで影響を与えており、地域住民の安全確保が急務となっていました。

そこで岸本海岸高潮対策事業により、現在は1基目100mの離岸堤を施工していただいています。おかげさまで、完了した一部区間の背後では越波や海砂利の飛散が低減され被害が少なくなってきました。今後、当事業が完成することにより、地域住民の安全及びインフラの確保につながることが期待されています。



かがみ花フェスタ



手結港可動橋